

視聴覚教育

NO. 486

発行日

R5. 1. 10

編集・発行

岡崎市AVL

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

これ知ってる！？

【授業支援クラウド】

ICTを使って、授業の運営と生徒の学びの両方をサポートするシステム。個人やグループの意見を集約したり、教材を配付したりできる。代表的なものに「スクールタクト」や「ロイロノート」、「コラボノートEX」などがある。

リアルな世界は温かい

藤川小学校 校長 塚谷 保

本校の校長室には度々妖精が現れ、私の心を温かくする。妖精は、年季の入ったソファがお気に入り。お尻と背中を大胆に預けているのは、リアルな感触を楽しんでいるからだろうか。「心地いいね。」と言うと、満足気な表情。目は合わなくとも、共感できたようだ。続いて、さまざまな国の写真が載ったカレンダーを見つめる。視線の先にあるのは中央右の小さな国旗。黒、赤、黄の模様を見て「ドイツ。」と尋ねてきた。「そうだね。」と返して、妖精との微笑ましいやり取りが終わる。授業を抜け出してしまった妖精は、担任と一緒に教室へ帰って行った。

ある日、夢中でNHK for schoolを見る彼がいた。道徳科で亀の産卵を視聴したところ、興味をもったとのこと。関連する動画を見ているとのことだった。集中して見ている、と感じたが、表情を見て驚いた。「無」と言っただけ、目に力がない。しばらくすると、目に入ったサムネイルが気になったようで、タップして関連の薄い動画を見始めた。私が近付いたことにも気付かない。そのときの彼は妖精ではなかった。デジタルの虜となった別人。窓の隙間から入る北風が妙に冷たく感じられた。

電子黒板やタブレット端末は、リアルでは用意するのが難しい現象を見ることが得意だ。彼が動画を見て亀の産卵に興味をもったように、学びの入り口になり得る。また、子供の視線を集めやすい。視界を区切ることで目が泳ぎにくくなるようだ。見てほしい部分を赤線でマークすれば、視覚的な効果は更に高まる。

一方で、「動画で見た」と、分かったような気になってしまいう危険性がある。動画に現れる動物には、匂いも手触りも味もない。絵や音はあるが、デジタルに変換されたそれは、色も高音もカットされている。リアルに比べて情報量の少ないものを視聴して、本当に「見た」と言えるだろうか。そして、過集中に陥りやすい。タップさえすれば必ず反応があり、刺激的なためだ。学習活動を切り替えるときに「iPadを裏向きにして。」と付け加えることもあるだろう。どうしてもいじりたくなってしまう、という罠に注意したい。

最近の妖精は、植えたチューリップに興味津々。自分のものも友達のものも何度も見に行く。先日、芽を出したため「チューリップ。」と言いがら先端に触れた。鋭さに目をぱちくりさせる妖精。冬晴れに水仙の香る日であった。

Ⅱ視聴覚教育あれこれⅡ

●自作視聴覚教材の活用を

今年度も「おかざき映像教材研究会」による教材制作が進められています。今年度は、四班集体で取り組んでおり、理科教材を一本、社会科教材を二本、道徳科教材を一本、制作しています。

これらの教材は、どれも岡崎市とその近隣の人や企業の取組を取り上げています。現地の様子を見たり携わる人たちのインタビューを聞いたりすることで、教科書の学習内容をより身近に感じられるよう工夫されています。理科では実験が難しい内容や、見ることが困難なものを映像で補うことができます。二月の学習情報主任会において、全教材を収録したDVDを配付する予定です。これまでに配付した教材も含め、積極的な御活用をお願いします。

作品の題名

A班「青い地球」水はめぐる」

B班「受け継がれるまちづくり」

「岡崎QURUWA戦略から学ぶ」

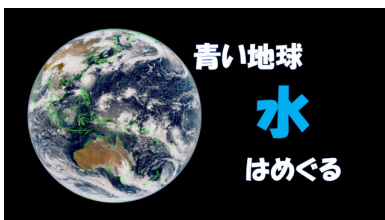
C班「古着からピーマン?」

「リサイクル会社の新たな挑戦」

D班「公園って誰のもの?」

「公園に参加する私の権利」

～作品の紹介～



A班「青い地球」



C班「古着からピーマン?!」

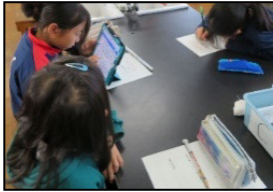
実践報告Ⅱ

スクールタクトの機能を使った対話と比較

山中小学校 安藤 怜菜

五年生の理科「もののとけ方」の授業でスクールタクトに追加されたグループ課題機能を使った。食塩やミョウバンを水に溶かし、溶け残った物質を溶かすに方法を尋ねると、教科書に載っている「水の温度を上げる」「水の量を増やす」方法の他に、「物質を細かく砕く」「水の種類を変える」などの案が出た。そこで今回は、児童が考えた実験方法の中から、それぞれ関心の高い方法の一つを選び、同じ方法を選んだ児童同士で実験を行った。

まず、スクールタクトのグループ課題で結果を記入する表を配付した。グループで同じ表に同時に書き込むと、子供は自然と対話する。「次溶けたら、前回の二倍になるね。」「そうだね。」と結果を基に、対話によって見通しを共有して実験を行うグループもあった。



そして、結果を共有するために共同閲覧モードにした。児童は、自分と他のグループの結果を比較し、「僕の班のように細かく砕いても溶けなかったけど、B班の結果から、水の量を増やすと食塩の溶ける量が増えることが分かった」と書いた。物質が溶けたかどうか差異点を比較し、溶け方に迫ることができた。

グループ課題機能を使うことで、実験を進めながら対話したり、結果を比較して考察したりすることができた。一方で、それぞれの児童が自ら表にまとめる力も大切である。その授業で何の力を伸ばしたいか。ICTの使いどころを考えたい。

レッツ・トライ！情報モラルⅡ

一言で変わる文章の伝わり方

常磐中学校 永井 丈流

中学一年生の情報モラルの授業で、ZUK for school「たった一言のちがいが…」を取り上げ、SNSでメッセージを送り合う際の言葉の伝わり方について話し合いを行った。

導入で「スマホを持っている人」と問うと、ほとんどの生徒が挙手をした。持っていない生徒も含め「スマホを持っていたら、どんなアプリをインストールしたいか」と問うと、LINEやTikTokなどのSNSをインストールしたいという意見が出た。「使っている中で、危険なことはあるか」と問うと、「知らない人とながってしま

う。」と意見が出た。危険性についての知識はあるが、自分事として捉えていない様子であった。動画教材「たった一言のちがいが…」を視聴し、視聴後に、SNSを使う上で、気を付けなければならないことを問うと、「文字だけでは伝わらない感情などがあることをお互いが考えていく。」や「顔が見えない分、いつもの話し言葉より丁寧な方が伝わりやすいかも。」などと意見が出た。振り返りでは、「SNSの文をそのままのみにせず、分かなければ直接話した方がいいと思う。」や「言葉の使い方



を考えていきたい。」と意見が出た。SNSが普及していく中で、どのような場面でもどのような危険があるのかを考えていかなければならないと感じた。SNSの危険性を理解しながら、適切に利用できるように指導していきたい。

ライブラリーだよ

教材・機材貸出の御案内

視聴覚ライブラリー教材・機材を利用したいときは、曜日・時間に関係なく申込できるネット予約がお勧めです。まずOKリンクを開き、次にホームから項目「教育施設HP」を経て視聴覚ライブラリーHPを開き、予約システムにログインしてください（詳細は各校に配布の『視聴覚教材目録』や学習情報部HPに掲載されている視聴覚ライブラリー教材検索システムを参照。電話予約可能）。IDとパスワードが分からない時は、学習情報主任を通してライブラリーまでお問い合わせください。

貸出期間は貸出日を含めて七日以内（七日目が休館日の場合は休館日以降最初の開館日まで）、貸出日三か月前から予約可能です。

教材は、巡回郵便での送付ができます。利用する場合は「利用目的」欄に「巡回郵便希望」と入力してください。返却時は宛先を「視聴覚ライブラリー」として送ってください。

【機材予約はお早めに】

毎年二月末から三月中旬にかけて学校行事関係での申込が多くなります。一般の利用も多い時期ですので、かなり混み合います。

主に、プロジェクターとデュプリケーター、近年はビデオカメラも希望が多いので、それぞれ早めの予約をお勧めします。

岡崎市視聴覚ライブラリー
機材・教材予約システム

教材検索 機材検索 予約確認 取消 ログイン/ログアウト

岡崎市視聴覚ライブラリー予約受付

このシステムは、視聴覚教材の貸出・返却の予約・管理を行うためのシステムです。予約する際には、ログインが必要です。

教材検索 機材検索 予約確認 取消 ログイン/ログアウト